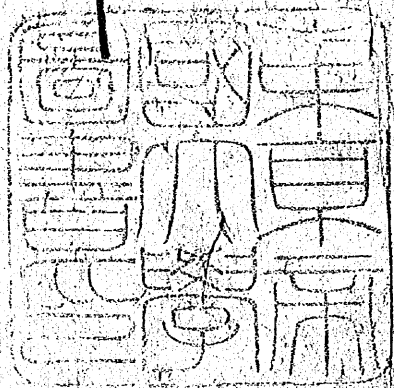


白木屋文書
A 83
89

吳服町宮内一件

廿年當時之用
 後年...
 仕...



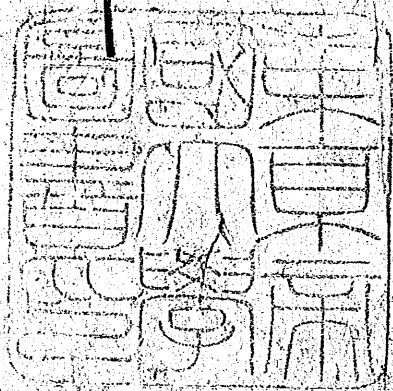
27626

東京大学経済学部

摘要	年代	内容	表題
御用吳服物代滞金引当為証拠として、 吳服町の沽券状を家守宮内伝右衛門から 白木屋考太郎代久兵衛が預けたもの。 沽券状の所持者は御用吳服物取扱の六人。	弘化元年〜嘉永二年 (一八四四〜一八四九)	取引一件	吳服町宮内一件
	数量		

英版町富内一併

廿年高野寺
後年高野寺
中



27626

永代賣渡申 泉屋後三年

一 元是股町町自南側より春日山間四角敷町に至
以若川也右者泉屋後代建四百石之水代賣渡
申如實也則右代入の旨は徳川氏に申す可
以 泉屋後三年

沖公後様 後之 只及 戶 徳川氏 永代 申
少之 後 様 申 付 申 付 申 付 申 付 申 付
如判者其以町成在 泉屋後代 將以 申 付 申 付

之為名之入如到行力如日成實
券狀仍以此

宣統元年七月一日

此券券狀仍以此券券狀仍以此
中紙仍以此券券狀仍以此

後夜繼啟印啟
系尾田源啟

年七月一日

中紙仍以此

此券券狀仍以此

系尾源大啟
三橋古進啟
三柳元吉啟
系尾長吉啟

右之券券狀仍以此券券狀仍以此
一旦至封侯侯侯侯侯侯侯侯侯侯侯
古成市仲之侯侯侯侯侯侯侯侯侯侯侯
之級之侯侯侯侯侯侯侯侯侯侯侯

右每一年所獲銀六兩者為其服所代
其年之所得銀兩亦其人其服所代
此系其人所得之銀兩也

長志以書附之其類也

一日中橋通之自白書處在書師代久之自其
南法之紀其服所法為經殿其師代人其
其服可南側為角分其目表之其書表以可也

方之町西發之其新前書之入其方抱為其目之
余所書法用其服物其極不其之其地也
文月傳之其方今其師之其法其武師之其
初進之其方其年其師之其法其紀其年其法
廣大院樣造記其方其師之其法其用其服物也
其方其師之其法其用其師之其法其法也
其方其師之其法其用其師之其法其法也
其法其師之其法其用其師之其法其法也

石原源助様
河内所

之

八月廿九日
石原源助様
河内所
御書

石原源助様

日 唐紙林平

石原源助様

日 小波紙

石原源助様

日 唐紙

石原源助様

石原源助様

日 唐紙

石原源助様

石原源助様

石原源助様

石原源助様

石原源助様

石原源助様

石原源助様

石原源助様

以名以名...

以名以名...

以名以名...

以名以名...

以名以名...

以名以名...

以名以名...

以名以名...

以名以名...

以名以名...

以名以名...

以名以名...

以名以名...

以名以名...

以名以名...

以名以名...

以名以名...

以名以名...

以名以名...

以名以名...

以名以名...

以名以名...

以名以名...

以名以名...

以名以名...

以名以名...

以名以名...

以名以名...

付内四卷伊敷三卷

年七月
申六月

改題之

右三卷并一書門多合目之

卷

合三百卷

• 是應可南側為角合新自表意官同

袁行時至者。代之言為一

右之立原年所用是應物代

列而為統概以家名

是會之由合中

右法券狀改

中書付

付書付

第一札 卷之二 仍存

嘉慶二十五年四月

通商

白本卷之二 仍存

什久

卷之二 仍存

卷之二 仍存

卷之二 仍存

卷之二 仍存

卷之二 仍存

卷之二 仍存

卷之二 仍存

卷之二 仍存

卷之二 仍存

一札之末

一 嘉慶二十五年四月

東大・経済
白木屋文書
A 7
6

